

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイ ゆめ木風3		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 6日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訓練室は限られた空間ですが、場面ごとに応じた環境設定を行うことで対応ができます。	可動式の仕切りを用いることで活動やお子様の特性に合わせて空間を仕切り対応することができます。	今後も現在の取り組みを継続しながら、支援の充実を図りたいと思います。
2	専門職員(5年以上の保育士)を配置して、特性に応じた専門的な支援を行っています。	職員間で話し合いをしながら毎週曜日を決めて専門的な支援(ソーシャルスキルトレーニングなど)を行ったり、強度行動障害児に対するプログラムを用いた専門的な支援を行っています。	今後も現在の取り組みを継続しながら、支援の充実を図りたいと思います。 強度行動障害児に対する研修を受講する職員を増やしていき、さらなる支援の向上に努めていきます。
3	年間の開所日数が多く様々なニーズに対応することができ、さらに継続した支援が行えます。	土曜、日曜、祝日など開所している日数が多いので、行事やイベントが多く、活動を通して様々な経験を得られることができます。また開所日数が多いのでお子様の生活リズムに合った利用が可能になります。 保護者様のニーズにも対応がしやすいです。	今後も現在の取り組みを継続しながら、支援の充実を図りたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域(こどもも含む)との交流機会が不足しています。	地域と交流をする行事やきっかけが不足しています。 特性上慣れた環境以外の場所や人に対して不安感が強く出てしまうお子様がいます。	地域と交流をする行事やネットワークを検討していきます。 同系列の他事業所との交流から始めて徐々に関りを広げていけるような企画を検討していきます。
2	駐車場からフロアに行く際に階段があったり、玄関も段差があるなどバリアフリーが充実していません。	事業所に行くためには必ず階段を使用しないといけないため、自力歩行が可能なお子様の受け入れを行っています。また、階段に手すりなどが無いため、自力歩行が可能なお子様でも注意をしないとけません。	移動時は必ず職員がそばで見守りを行っています。現在の取り組みを継続しながら安全に通えるようにしていきます。 定期的に洗浄機による清掃を行い、階段が滑らないように配慮しています。
3	家族支援プログラム(ペアレントトレーニングなど)や家族などの参加できる研修の機械や情報提供がされていません。	保護者様からのご相談に対して随時対応させていただいておりますが、プログラムなどの実施には至っておりません。 ペアレントトレーニングなどの外部研修の実施もできておりません。	職員に対して外部研修による専門性の向上を図る機会を検討していき、実現できるように取り組みを考えていきます。